

第65回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和4年12月12日(月) 午後6時30分～午後7時30分

場 所 商工会館2階大会議室

出席委員 11人

委員長	繁 田 進 委員	
副委員長	金 尾 悠 香 委員	
委 員	岡 田 一 美 委員	鴨 下 明 子 委員
	橋 田 壤 志 委員	須 藤 夏 生 委員
	中 村 真 子 委員	中 村 彰 宏 委員
	南 貴 之 委員	天 野 建 司 委員
	加 藤 明 彦 委員	

欠席委員 1人

野 寄 歩 委員

事務局職員

企画政策課長 富 田 絵 実

企画政策課係長 中 川 法 子

企画政策課主任 野 村 啓 介

傍 聴 者 (オンライン) 20人

(午後6時30分開会)

◎事務局 大変お待たせいたしました。ただいまから、第65回小金井市市民参加推進会議を開催いたします。

本来であれば、11月に皆様にお会いしたかったところでございますが、市長選挙の関係で開催が遅くなりまして、申し訳ございませんでした。今回、配慮はいたしておりますが、時節柄、皆様がお集まりになること自体、御心配もおありになるかと思っております。極力スムーズに進行し、1時間程度で終了できるよう進めてまいりたいと考えておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

本日の傍聴に関して御連絡をいたします。委員の皆様には事前に御連絡をいたしておりますが、小金井市、西東京市、武蔵野市、三鷹市の4市で構成する4市行政連絡協議会において、今年度は「ICTを活用した市民参加手法の研究」をテーマに、オンライン上での市民参加手

法の導入について検証をいたしております。本研究の一環として、オンラインで会議映像を視聴できる手法を検証するため、Z o o m ウェビナーを活用した効果検証を行わせていただきます。なお、オンラインの傍聴申込み者は、本日20人となっております。

改めまして、事務局を務めます、小金井市役所企画政策課長の富田と申します。委員長が選任されるまで、司会進行を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

会議に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。資料は右肩に付番を振っており、1番から8番までがございます。不足がある方がいらっしゃいましたら、どうぞお声をかけをくださいますようお願いいたします。また、会の途中で不備にお気づきの場合にも、どうぞ御遠慮なく事務局にお声かけをくださいますようお願いをいたします。大丈夫そうでしょうか。

欠席などの御連絡をさせていただきます。本日、野寄委員から御欠席との連絡をいただいております。また、金尾委員、中村彰宏委員から、若干遅れる旨の御連絡を頂戴いたしております。

続きまして、事務局の担当職員を紹介させていただきます。

まず私が、先ほど申し上げましたとおり、小金井市企画財政部企画政策課長を務めております富田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、企画政策課企画政策係長の中川でございます。

◎事務局 中川です。よろしくお願いいたします。

◎事務局 続きまして、企画政策課企画政策係主任の野村でございます。

◎事務局 野村です。よろしくお願いいたします。

◎事務局 このメンバーで進めさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。2番の委嘱状の交付ですが、本日は机上配付とさせていただきます。事前に皆様のお席に置かせていただいております委嘱状を御確認くださいますよう、お願いいたします。こちらにございますとおり、12月12日付、本日付をもちまして、正式に委員となつていただいております。任期は2年間となります。おおむね1年間に4回、2年間で計8回の会議を開催する予定としてございます。長期にわたりますが、どうぞよろしくお願いをいたします。

本日は、市長も出席をさせていただきます。まず、白井亨市長から御挨拶を申し上げます。

市長、お願いします。

◎白井市長 こんにちは、皆さん。本日はお忙しい中、市民参加推進会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。傍聴の皆さんもありがとうございます。

着座にて、まず御挨拶させていただきます。

このたび、市長選挙、11月27日の投開票だったんですが、その選挙で新たに小金井市長

に選ばれ、就任いたしました白井亨でございます。第9期の市民参加推進会議の開催に当たりまして、簡単ですが御挨拶をさせていただきます。

第8期から引き続き委員を引き受けていただいている方は御存じのことかと思いますが、この市民参加推進会議は、市民参加条例の適正な運用状況を審議する会議でございます。小金井市は、平成16年4月に、この市民参加条例を制定いたしました。この条例は、公募の市民を含みます策定委員会が検討、調査を重ねて策定し、市民参加の下で作成された、小金井市が誇る条例でございます。この条例の目的は、市民の市政への参加と協働ということについて必要な事項を定め、市民の皆さんの御意思を市政に生かして、市民本位の市政運営を行うことにあります。

実は私自身が市政に深く関わるきっかけといいますか、興味を持つきっかけとなったのが、平成22年、市民協働の在り方等検討委員会という審議会があつて、そこに、全く政治とか市政に無関心だった私だったんですが、偶然見つけたそれに応募をして選ばれて、その審議会に入りました。そこが一つ大きなきっかけでして、その後、第4期の市民参加推進会議の委員にも実はつながりました。そちらも市民公募に応募して、選んでいただいたということです。それが、市政に関して深く興味・関心をさらに抱いて、結果的には今、市長という立場になっているんですけど、それが入り口だったというところなんですね。今回、市長選の中でも、市長就任の時にも述べたんですが、「みんなで作ろう、いろいろが、彩るまち。」ということのスローガンにし、さらに、みんなでまちをつくる、参加と協働と地域資源活用のまちということも掲げさせていただいております、やはり市民参加は、いろいろある中でも力を入れたい分野の一つでもございます。

条例で掲げているように、市政、住民自治の主役は、やはり皆さん、市民であると考えております。その市民参加というのは、行政が市民の皆さんに何かお願いするというのではなくて、市民、皆さんと行政がお互い、ある意味対等の立場で、お互いの役割に基づいて協力して、みんなでまちをよくしていこうと、こういうことだと捉えているんですね。

市では、これまでいろいろ、市民参加や協働ということの取組というのをやってきたんですけども、前期の第8期の市民参加推進会議の提言でも御指摘をいただいているんですけど、審議会などへの参加が、どちらかというところちょっと年齢層の高い方々に若干偏っていると、そういう特徴がございます。市民意見のフィードバックというのが不足しているよね、こういった御指摘もいただけてきました。ICTの活用なんかも実はそうなんですよ。今回初めて、オンライン傍聴という試行的なこともやっておるんですけど、新しいこともいろいろやっていきたいなと思っております。

今回の第9期の市民参加推進会議の皆さんでは、これまでいろいろいただいたかつての提言内容のさらなる検証もそうなんですけれども、長年の課題でずっと提言されている若者の参加というものについて、改めて焦点を当てる期になればいいなと考えているところでございます。若者の参画については、第5期、第7期でも提言として取り上げられて審議をしてきたところ

が、現時点でも、市の全体の審議会、いろんな審議会が、数えれば70位あるんですけど、ここでの30代以下の審議会委員の割合というのが、大体5%から6、7%でずっと推移しているんですね。なので、なかなかそこからうまく上昇していかないという状況がございまして、比較的若者が多い町でもありながら、なかなか参加に結びつくような状況になっていないという、この課題がやっぱり残っているんですね。

市政運営の参加と協働を体現する今後の世代を育てていくという観点もございまして、過去の提言からさらに踏み込んで、若者の皆さんの声をどうやって市政に反映していくのか。どちらかという、単発で意見を聞くという場はあったりするんですけど、それで終わってしまっている現状があったりもしますので、そうじゃない検討をこの第9期で行っていただきたいなと思っております。

この市民参加推進会議は、市全体の市民参加を推進する核となると思っております。市民と職員が、ある意味自由闊達に話し合う場でもございますし、できるだけいろいろアイデアとか、場合によっては知恵を出し合って、育てていく会だと思っております。皆様には、自由闊達な御議論をお願いし挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎事務局 続きますので、本日初回でございますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。名簿順にお名前をお呼びさせていただきますので、お名前と所属や、こちらの会議への御参加の経緯、または本審議会に対するお気持ちなどをお聞かせいただければと思います。

では、最初に、岡田委員からお願いをいたします。

◎岡田委員 こんにちは。岡田と申します。よろしくお願いいたします。第7期から8期、今回9期ということで、5年間お世話になっております。もともとは無作為抽出からということで、その後は自分で、やり残したことなどもある気がしましたので、応募いたしました。初め、5年前ぐらいは、もちろんコロナ禍でもありませんでしたので、私もワークショップなどに参加したり、たくさんのにぎやかな、活発な意見のある会議に参加することができたんですけど、その後やはり2年間、オンラインであったりZ o o mであったり、すごく閉ざされた、なかなか若者のというか、若い方々の意見を聞く機会がどんどん失われていった時期でもありましたので、この9期目では、またそのよかった時期と悪かった時期のところをうまく皆さんで話し合っ、もっと意見を活発にしていけたらいいなと思っております。

もっと30歳以下の方が参加しやすいものになるように、意見を出せればと思っております。よろしくお願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。

続きますので、鴨下委員、お願いいたします。

◎鴨下委員 鴨下と申します。よろしくお願いいたします。私も、岡田委員と同じで今回3期目になるんですけども、本当に同じタイミングで無作為抽出で、3期目になり、だんだん市政に参加するというか、自分の住んでいる地に思いを持って貢献することができるということ

の大事さを感じています。今期はより多くの方が、ほかの方たちも、自分の住んでいる市に対しての思いなどを伝えられるように、少しでもできたらいいなと思って参加してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。

では、橋田委員、お願いいたします。

◎橋田委員 橋田と申します。よろしく願いします。私も8期を務めさせていただきまして、私も無作為抽出で選ばれたんですけど、そういう機会がなければ自分から立候補することはないと思いますので、そういう機会をせっかく与えていただいたので、もともとそんなに興味がないといえますか、そういう知識もない中で参加させていただきまして、自分の意見を言えるという貴重な機会なので、小金井市に住んで8年ぐらいたつんですけども、私、二、三年ぐらいで引越しの繰り返しなんですけれども、かなり住みやすい市とっておりますので、だんだん愛着も湧いてきました。なので、少しでもよくできるように、意見を出していければと思います。よろしく願いします。

◎事務局 ありがとうございます。

続きまして、須藤委員、お願いいたします。

◎須藤委員 皆さん、初めまして。須藤と申します。私も無作為抽出で、今回初めて参加することになりました。

小金井市との関わりで言いますと、学芸大学に昔通っていたので、ゆかりはあるかなと思っていて、2年前に家を小金井市に買って、今回この機会をいただく感じになっています。市政に関しましては、今までちょっと市民参加も正直できていなかったですし、こういう機会もなかったもので、なかなかタイミングがなかったんですけど、友人が国分寺の市議選に立候補したということとか、あとは、今回、小金井市に住むので家を買うというイベントがあったので、自分もまちに関して何かできることはないかなということで、立候補させていただきました。

あとは、議題に関して、SNSだったりコミュニケーションのお話が前の期で出ていたかと思っていて、仕事柄、広告代理店だったり、現在もIT関連の仕事に就いているので、そのあたりの何か知見でお役に立てることはないかなと思っているので、今回楽しみにしております。あまりこういう会議の場に参加したこともないので、ちょっと御迷惑をおかけするかもしれないんですけども、ぜひいろいろ教えていただきながら、貢献できればと思っております。よろしく願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。

続きまして、中村真子委員お願いいたします。

◎中村（真）委員 初めまして。「地域の寄り合い所また明日」というNPO法人から参りました中村と申します。前期まで委員を務めていた代表の森田から、ちょっとやってみない？ということで誘っていただきまして、いい機会だなと思ひまして来させていただきました。

個人的には、15年前に小金井に、縁もゆかりもなかったんですけども、たまたまやっぱ

り家を買ったということで、住んでまいりまして、今、子どもが市内の公立の学校に小中で4人通っております。子育てをしていて、すごくいい環境だなと思ったり、子どもたちと、こういうところがこういうふうだったらいいなというような話はよくするんですけども、具体的に市政に参加するというのは、ちょっとアクションとして起こしたというのは今までなかったですが、どういうことがそういうふうな行動につながったと言えるのかなというのが、まだイメージとしてははっきりつかめていない感じかなとは思っています。

仕事で地域の小中学生とかいろんな方ともお会いするので、地域の方といろんな交流というのは重ねてきたんですけども、それを行政とつながっていくという形で関わっていくというのは、まだこれから考えていこうかなと思っていますので、私も知識の乏しい中で、御迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますけれども、勉強していきたくと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。

では、南委員お願いいたします。

◎南委員 小金井青年会議所から参りました南と申します。第8期の市民参加推進会議に参加させていただきまして、本当に右も左も分からないまま、本当に勉強させていただいて、1期やってくることができました。2期目ということで、これからはもっと自分の意見も発言できるようになればと思っています。市長が先ほど、市民の参加推進に関して力を入れるということだったので、ぜひ尽力できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。

では、繁田委員、お願いいたします。

◎繁田委員 失礼します。繁田と申します。東京学芸大学に勤務しております。18歳のときに兵庫県から出てまいりまして、42年間、小金井市にはお世話になっております。途中、東京学芸大学付属小金井小学校の校長も拝任しております、そのときにも非常に小金井市にはお世話になりました。あと、FC東京と学芸大と小金井市で、産官学ということで、日本で初めて学芸大クラブというのを作りまして、NHKに大きく取り上げられて、小金井市、学芸大、FC東京で、そこから育った選手に久保選手ですね、今回ワールドカップで活躍した彼なんか育っております。ですから、久保君は小金井市に育てられたと思っています。

いろんな意味で、先ほど市長とお話しさせていただいたんですけども、もうちょっと大学と交流したり、今回のテーマであります若い人ということで考えますと、やっぱり学生などにもいろんな意見を聞いて、今、学生はアイデアを持っていますので、特にSNS関係なんて、私たち、逆に学生から教えられることばかりで、そういう意味ではいろんな若い人の意見を聞いて、いい小金井市にしていければなと思っています。

よろしく申し上げます。

◎事務局 ありがとうございます。

続きまして、金尾委員お願いいたします。

◎金尾委員 金尾悠香と申します。初回から遅れまして、大変失礼いたしました。前期の8期から参加させていただいておりました、2回目の委員を体験という状態でございます。

小金井市には住んだこともなく、8期のときに、初めて御縁を頂戴したという、この会議だけが小金井市との接点ということになります。それから、自分の住宅のエリアではいわゆるサイレント層に属しておりました、こういった機会がないと、どこの居住地でも市政に参加するということが目新しいという状態でございます。ただ、御縁を頂戴したからには、小金井市の発展のために何か自分で貢献できればなと思っておりますので、外からの風ということで、皆さんと一緒に頑張ってまいればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◎事務局 では、続きまして、市職員で企画財政部長の天野でございます。

◎天野委員 企画財政部長の天野です。よろしく願いします。

皆さん、市民参加推進会議に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。本当に今、皆さんが言われたとおり、私も結構長くやっております、皆様と一緒に楽しくやっていると、思っています。

市民参加推進会議というこの場は、自由に話ができたり、いろんなことができたりする。委員の方々も言われたんですけど、この場が市民参加の実験の場であるというようなことも言われました。この場で市民参加について話したりするのも大事だけれども、何でもできるというようなことも考えていただければいいなと思えます。そのような雰囲気大切だと思いますので、これからもよろしく願いします。

それから、今、市長からも話がありましたが、特に若者への取組については、この場でも多く議論してきましたし、行ってきたりもしました。その成果として、市民参加における、先ほどお話にもありました無作為抽出ということの導入、それからワークショップ、この場でも、審議会でもワークショップを若者たちとやっていたり、そういったものも活用して、行っておりました、小金井市の大事な計画でもあります第5次基本構想前期基本計画策定に際しましては、皆様のお力も借りながら、若者ワークショップの導入をさせていただきました。

したがって、推進会議からの御提言、若者がより継続的に参加できる場が重要であり、サイレントマジョリティについても大事であることも言われましたが、そういったことも踏まえてやっていきたいということもありますし、小金井市にとって非常に資産というか財産があるというのは大学、教育だと思っていて、そういった大学などとの連携が何ができるか、また在り方など、皆さんとお話できればいいなと思えます、よろしく願いいたします。

◎事務局 続きまして、市職員から、総務部長の加藤でございます。

◎加藤委員 総務部長の加藤でございます。本日は会議への御参加、ありがとうございます。この会議に私も参加させていただいて、総務部の立場で私もいろいろ発見とかもあります。当然、市の職員にも若い職員がおりますので、そういう職員が市民の方とどのような形で、よりよいまちづくり、もしくはよりよい市としていくための方策というものを一緒に考える、そういう仕掛けをやはり職員のほうもしていかなければならないという面では、非常にこの会

議が参考になり、また勉強になる部分も多々ございますので、私も平成30年の4月に総務部長に就任しまして、それ以降参加させていただいておりますが、委員の方々につきましても貴重な皆さんの御意見をお聞かせいただきながら、総務部の中でも生かしていけるようなご提案があれば、それは生かしていきたいと思っておりますので、引き続きの委員の方もいらっしゃると思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎事務局 では、最後になります、中村彰宏委員から御挨拶いただけますでしょうか。

◎中村（彰）委員 こんばんは。初めまして。事前に御連絡はさせていただいたものの、遅くなりまして申し訳ございません。御紹介いただきました中村彰宏と申します。私は市民団体代表ということでございますけれども、NPO法人市民の図書館・公民館こがねいという組織がございまして、そちらで副理事長を拝命しております。どういうことをやっているかと申しますと、皆さんも御存じだと思いますけれども、小金井市からの委託を受けて、貫井北町センターや東センター、こちらのほうで公民館・図書館の運営をしている組織でございます。そちらのほうからの代表ということで、参加させていただきます。3期目になります。

私の今後の心構えということでございますけれども、皆さん、フィンテックという言葉は御存じだと思います。実際、北陸のどこの自治体かちょっと失念いたしましたけれども、道路部門の補修・改修をやっているセクション、そちらが市民に向けて発信をして、市民がスマホを持っていますよね、大体は。スマホで、市の補修しなければならない、道路が破損しているとか、マンホールにひびが入っているとか、そういうのを写真に撮ってアップして、市のほうに連絡すると。そういうことによって、これまで市が直轄管理していた場合は、かなり人件費とか手間暇がかかっていたと。そういった試みを、それも市民参加の私は一つだと思っております。市民協働という立場から、そういった即実践でき、市民協働にもなり、税金の節約にもつながると、そういった即実施可能な提案を、紙の上だけでなしに提言していきたいと思っております。

お世話になりますが、2年間よろしくお願いいたします。

◎事務局 ありがとうございます。こちらの皆様で、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

大変恐れ入りますが、市長は所用のため、こちらで退席をさせていただきます。

◎白井市長 中村委員、さっきおっしゃられたこと、小金井市の道路の異常があったときに、LINEで通報できる仕組みを、簡単なものですが導入しております。でも、もっといろんなところでやれることはあると思っておりますので、また御意見をよろしくお願いいたします。

◎中村（彰）委員 はい。

（市長退席）

◎事務局 それでは、続きまして、次第の3、正副委員長の互選に入らせていただきます。

この会の会長、副会長は、委員の皆様の互選によって決めていただくこととなっております。まず、会長について、どなたか御意見はございますでしょうか。

岡田委員、お願いします。

◎岡田委員 岡田と申します。推薦でよろしいかと思えます。

◎事務局 ありがとうございます。推薦という御意見をいただきました。どなたか推薦がおありでしたら、お願いできますでしょうか。

◎岡田委員 岡田と申します。こうした会議の経験も多くされていると思えますので、学識の繁田委員にお願いできればと思うんですけれども、いかがでしょうか。

◎事務局 ありがとうございます。繁田委員を会長にとの御推薦をいただきました。皆様、御意見などいかがでございますか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎事務局 ありがとうございます。それでは、委員長には繁田委員にお願いをいたします。

この後、進行を委員長にお願いしたいと思えます。委員長の御挨拶をいただいた後に、事務局から席札をお持ちいたします。まず、繁田委員長から、御挨拶をお願いいたします。

◎繁田委員長 僭越ですけれども、委員長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願ひします。

◎事務局 では、お願いいたします。

◎繁田委員長 それでは、次に、副委員長を決める必要がございます。副委員長は、今後、この会議の提言をまとめていく文章を作るお仕事がございます。私としましては、前期提言を取りまとめていただいた金尾委員にお願いしたいと思えますが、皆さん、御意見はいかがでしょう。

(「異議なし」の声あり)

◎繁田委員長 それでは、副委員長については金尾委員にお願いいたします。

それでは、金尾委員、一言御挨拶いただけますでしょうか。

◎金尾副委員長 僭越ながら謹んでお受けいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

◎繁田委員長 それでは、よろしくお願ひします。

早速ですが、次第の続き、4、市民参加条例の概要についてです。

事務局から説明をお願いします。

◎事務局 事務局、中川です。よろしくお願ひいたします。

お手元にこの青い冊子がございますでしょうか。市民参加とは、市が政策を進めるのに当たり市民の皆さんに参加いただいて、御意見を生かしていこうという趣旨のことになりますが、そのための決まり事を定めたものが、市民参加条例になります。資料2に市民参加条例の概要が入っております。資料2は条例の目次、青い冊子は、条例の手引ですのでマニュアルとなっております。なお、この青い冊子は作られたのが古くて、条例は1回改定されているんですけれども、それがとじられていないので、紙で挟み込んでございます。申し訳ございません。

かいつまんで説明させていただきます。青い冊子の3ページ、第1条を御覧ください。第1条、2行目後段から、「多様な市民の意思を市政にいかし、市民本位の市政運営を円滑に進める」とございます。先ほど御説明しましたが、これがこの条例の目的になります。このほか、この市民参加推進会議のような会議について、「附属機関」と申しますが、その附属機関等を

進めるに当たってのルールが書かれております。

飛ばしまして、23ページを御覧ください。第20条に市民参加推進会議の役割が書かれてあります。市民参加条例がきちんと運用されているかどうかを確認すること、市民参加を進めるための意見「提言」を市長に対して出していただくことが、皆様の役割となります。

その他については、適宜御質問をいただければと思いますが、市民参加条例につきましの説明は以上になります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

本日は時間もございますので、質問等がある委員は、後日、事務局のほうに確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは次に、次第5、推進会議の運営等についてということで、この会議のルールを最初に決めるということです。

事務局から説明をお願いします。

◎事務局 事務局、中川です。

この推進会議の運営に当たりまして、2点御確認いただきたいことと、1点のお願いがございます。

まず、資料の3「小金井市市民参加推進会議の運営等について」を御覧ください。

まず1点目、会議録についてでございますが、会議録の記録の仕方について、1(1)を御覧ください。全文記録をするか、発言者の発言内容ごとの要点記録をするか、会議内容の要点記録の3つのうちから、どれにするかを決めていただきたいと思います。事務局といたしましては、全文記録がよろしいかなと考えております。

続いて2点目、資料4の「意見・提案シート」を御覧ください。これは、傍聴の方、本日はオンライン傍聴になっておりますが、傍聴の方の御意見もきちんとお聞きするために設置しているものですが、まずこの市民参加推進会議でこの意見・提案シートを導入するかどうかを、会の始まりで決めていただきたいと思います。シートの取扱いについて御協議いただきたいと思います。第8期までにつきましては、意見・提案シートについては設置した上で、御記名をいただいて提出していただいたものについては正式な資料として、無記名の場合は参考資料として、会議に諮らせていただいております。内容は、委員の方から審議に取り上げたいと申出があった場合には、審議を行うという扱いになっておりました。この意見・提案シートの取扱いについても、この場で御協議いただければと思います。

最後になりますが、資料3でございます。発言する際には、会議録の作成上、お名前をはっきりした声で述べていただきますと、会議録の作成に非常に役に立ちます。

説明は以上になります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。意見を言うときは、最初に名前を言うということで、繁田です。会議録、意見・提案シートについて、事務局から前期同様でどうかという御意見がありました。よろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎繁田委員長 それでは、そのように決定いたします。

それでは、次第6の(1)市民参加条例運用状況等についてです。

事務局から説明をお願いします。

◎事務局 事務局、中川です。

本日オンライン傍聴で、姿が見えないんですが、20名近くの方が会議を傍聴なさっていらっしゃいます。意見・提案シートにつきましては、この後にホームページに書式をアップさせていただきますので、本日、オンライン傍聴をされた方についても、それを使って意見を提出することができるかとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎事務局 続きまして、事務局、野村です。

それでは、資料5「令和4年度市民参加条例対象附属機関等設置状況」を御覧ください。こちらは、令和4年4月1日現在の附属機関等の状況をまとめたものになります。先ほど御説明しました市民参加条例の運用状況を確認するため、現状を報告するものでございます。

附属機関等は、休会中の会議体も含めて79機関でございます。4月1日現在、委員になっている方の総数は814人、そのうち男性が527人、女性が287人であり、男性が65%、女性が35%となっております。条例上は偏りが無いようにとありますが、男性のほうが多くなっている現状でございます。また、公募委員につきましては、条例上の決まりは委員のうち30%ということになっておりますが、専門的な会議など公募委員をもともと置かない附属機関もあり、それらを除いた附属機関を分母とした実績は31%となっております。引き続き、条例趣旨を満たすように周知を図ってまいります。

続きまして、資料の6「令和4年度市民参加状況調査」を御覧ください。各計画の策定の際のパブリックコメントや市民アンケートの実施状況を一覧にしております。参考に御覧ください。現在市では、これまで附属機関等への市民参加を促進するため、公募による市民参加の手法を整備するとともに、無作為抽出の活用など、市民の市政への参加機会を拡充してまいりました。公募の審議会委員の無作為抽出につきまして、徐々にではありますが、実施した審議会が増えてまいりました。多様な市民参加に向けて、少しずつ拡充できているのかなと考えております。引き続き、参加及び議論のしやすい環境づくりに努めてまいります。

説明は以上です。

◎繁田委員長 繁田です。事務局の説明は終わりました。

それでは、続けて、次第6の(2)を行います。

事務局、説明をお願いします。

◎事務局 事務局、中川です。

それでは、この前までの市民参加推進会議の議論の結果等について、御説明いたします。資料の7が、第8期の市民参加推進会議からいただいた提言、資料の8は、提言に対する市長からの回答となります。第8期から継続していただいている委員の方は、御覧になったことがあ

るかと思ひます。

概要を説明させていただきます。資料7の5ページを御覧ください。第8期では、「理想の市民参加」という大きな題に取り組みまして、この内容について御検討いただき、市民の意見に対する市のフィードバックがあまりされていないのではないかと、市民の意見を出しやすい環境づくりがやはり必要だよねという御提言をいただいております。提言のあった項目について、現時点での検討状況になりますが、時代に即したSNSの活用に向け、新たなツールの導入について担当課と調整をしているところです。市民の意見を聞く手法の多様化が必要だという御提言をいただきまして、デジタルトランスフォーメーションを含めた市民サービス向上等につながっていくとよいなと考えております。そのほか、フィードバックについて御議論をいただいたと思うんですけども、市民意見に対する市のフィードバック等についても、引き続きやり方については検討させていただきたいと思っております。

以上になります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。繁田です。

事務局の説明は終わりました。何か御意見、御質問はございますか。

デジタルトランスフォーメーション、須藤委員ご説明いただけますか。

◎須藤委員 須藤です。デジタルトランスフォーメーション、最近よく言われるかなと思っっているんですけど、言葉のとおり、今まで紙でやっていたものをデジタル、例えばスマホでできるようにみたいなイメージがしやすいと思うんですけど、そういっただけではなくて、利便性を上げるということが本質というのがよく言われています。なので、例えば日本の中でも、住民票の発行を、今まで窓口で並んでやっていたのをコンビニでできるようになったみたいなのが、一番分かりやすい例かと思うんですけど、そういったことを進めていくというのがデジタルトランスフォーメーションだと理解しております。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

そういうことでございますので、できるだけ便利な機器は導入して、よりよい小金井市をということ。ありがとうございます。

では、続きまして、次第の第7、今期の検討について、第9期の検討についてです。

事務局、説明をお願いします。

◎事務局 事務局、富田でございます。

御説明させていただきます。今期、皆様にどういったことを御検討いただくかというテーマ設定につきましてでございます。本日、市長から皆様にお伝えをさせていただきました御挨拶、熱いメッセージや、皆様からお話をいただきましたお考えなども踏まえまして、テーマの方向性の案につきまして、委員長、副委員長に御一任をいただき、次回の会議で皆様に御意見をいただき、その後に決定をしまいたいと考えてございます。

◎繁田委員長 繁田です。ありがとうございます。

事務局から、テーマの方向性について提案がありました。これについて御意見はございます

でしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎繁田委員長 繁田です。ありがとうございます。

ないようですので、そのように進めさせていただきます。

それでは、本日、最後の議題ですが、次回推進会議の開催日について、事務局、お願いします。

◎事務局 事務局、富田です。今回は3月頃を検討してございます。また改めまして、事務局からメールで日程の調整をさせていただければと考えてございます。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

それでは、また別途事務局から調整があるということですので、皆さん、よろしく願いいたします。

その他、何かある方はいらっしゃいますか。

中村委員、どうですか。

◎中村(彰)委員 特にございません。

◎繁田委員長 そうですか。

◎中村(彰)委員 はい。

◎中村(真)委員 大丈夫です。

◎繁田委員長 岡田委員。

◎岡田委員 特にありません。

◎繁田委員長 特にないとのことですか。

◎繁田委員長 鴨下委員、よろしいですか。

◎鴨下委員 特にございません。

◎繁田委員長 よろしいでしょうか、皆さん。

意見がないということですので、それでは、これをもちまして、第65回市民参加推進会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

(午後7時30分閉会)